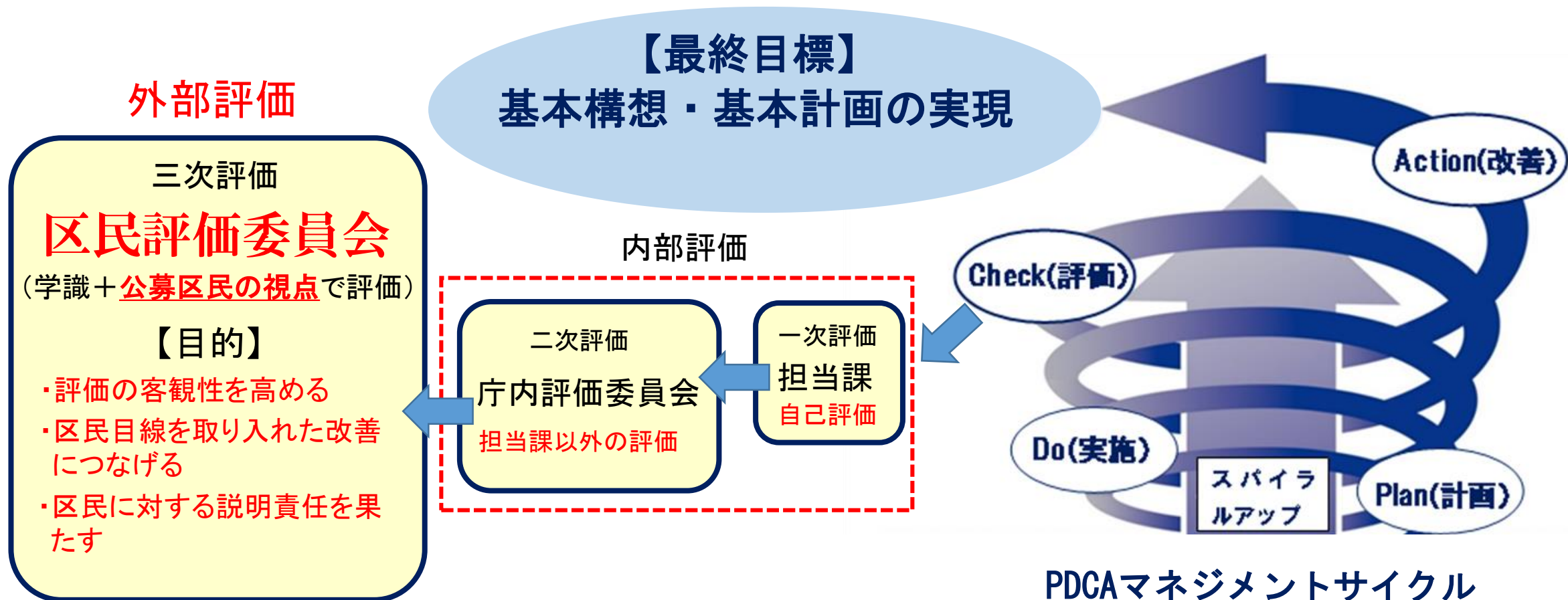


## 足立区区民評価委員会について

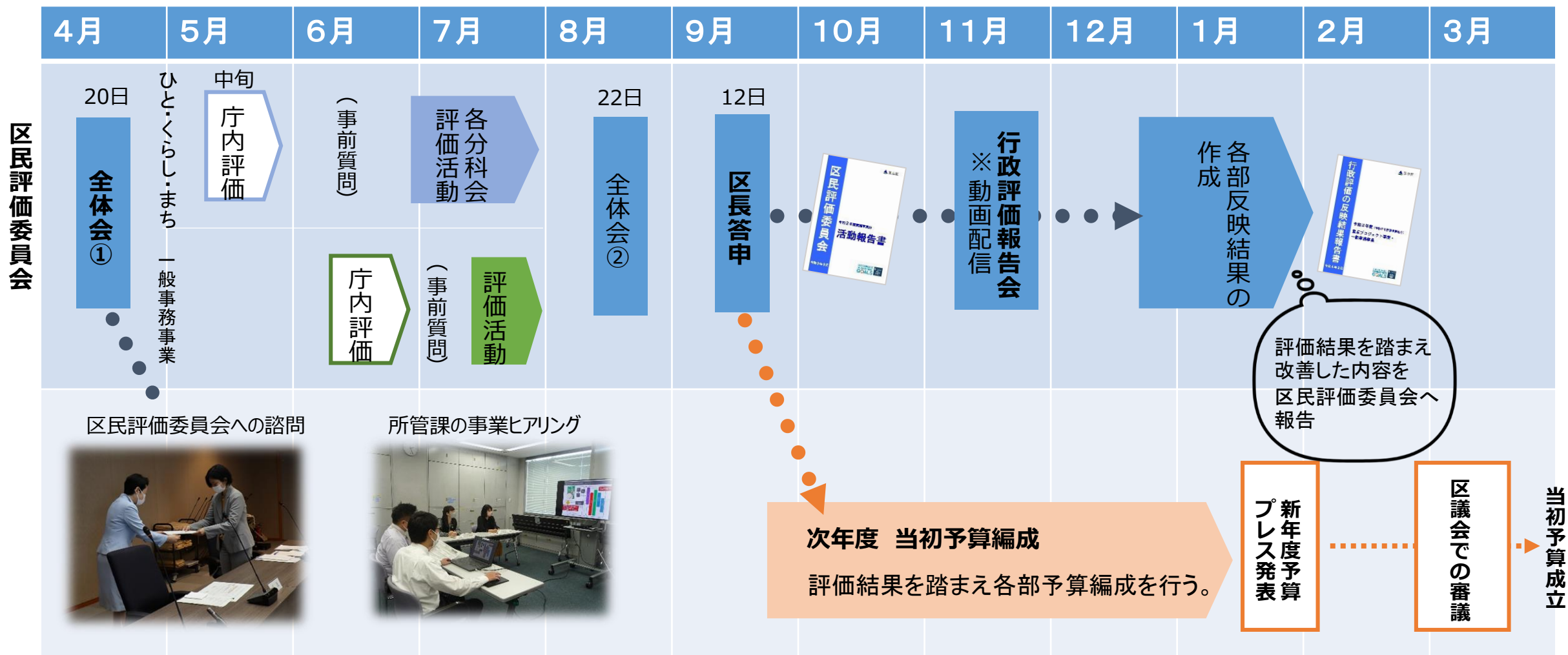
### 足立区の行政評価のねらい

- 1** 区民に対する説明責任を果たし、協働・協創の基礎をつくる
- 2** より一層、成果重視の区政をめざし、重点プロジェクトを中心とした基本計画の進行管理を行う
- 3** P D C A のマネジメントサイクルを確立し、戦略的な区政経営を行う
- 4** 職員の意識改革を進め、政策形成能力を高める

# 足立区区民評価委員会について



# 足立区区民評価委員会の1年



# 行政評価制度のさらなる推進

## 1 重点プロジェクト事業の見直し

- 01 重点プロジェクト事業とは？
- 02 重プロを構成する事業の規模



★R6区民評価に向けて(R5実施事業)

- ①重プロの **定義** の見直し
- ②重プロの **構成事業** の見直し

## 2 区民評価・庁内評価の充実

- 03 評価にかけられる時間の短さ
- 04 安定的な評価活動の担保



★R6区民評価に向けて(R5実施事業) ※R5試行

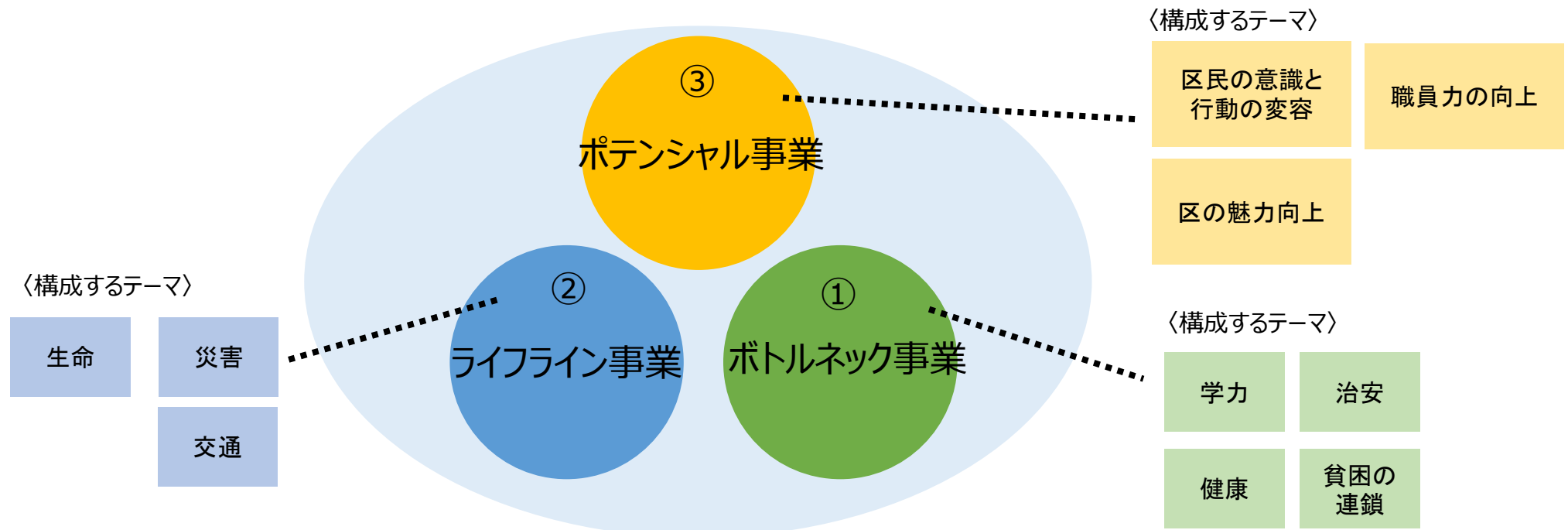
- 一次評価（自己評価）：全事業で実施
- 二次評価（庁内評価）：全事業で実施
- 三次評価（区民評価）：一部の事業で実施

# 重点プロジェクト事業の定義

「基本計画の施策の中で  
特に重要かつ喫緊の課題」… とは？

3つの軸 以下のいずれかにあてはまる事業

- ① 治安・学力・健康・貧困の連鎖を解消する事業であること（ボトルネック事業）
- ② 区民の命と財産を守る事業であること（ライフライン事業）
- ③ 社会資源を活かし、区の魅力や区民の生活の質を高める事業であること（ポテンシャル事業）



# 重点プロジェクト事業の 軸×4つの視点

★R5区民評価対象(R4実施事業)

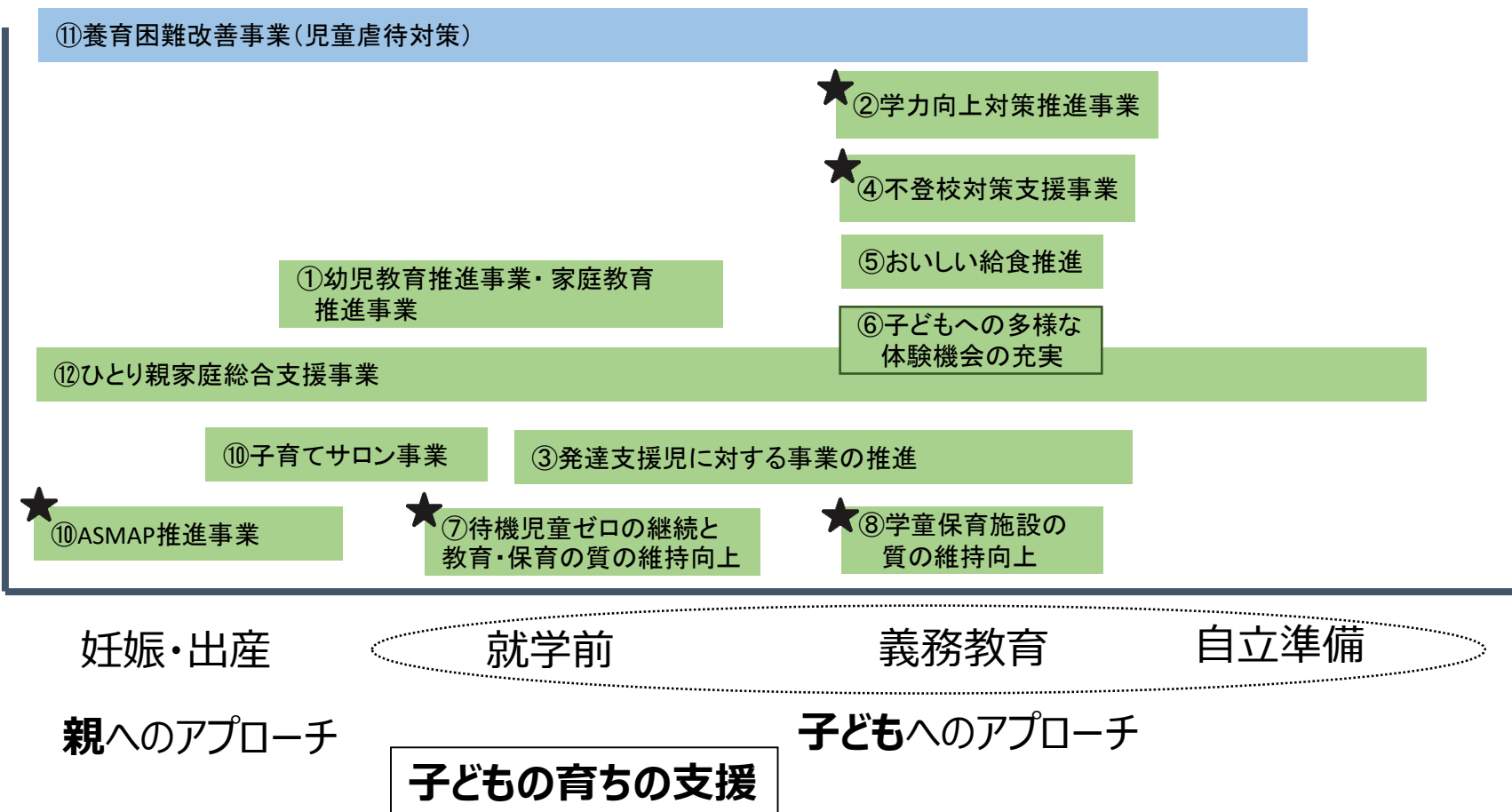
## 1 ひと

- 自己肯定感を持ち、笑顔で健やかな子どもを育てる
- 自分の可能性を広げ、地域を支える意欲を育てる

ポテンシャル事業

ライフライン事業

ボトルネック事業



# 重点プロジェクト事業の 軸×4つの視点

★R5区民評価対象(R4実施事業)

## 2 くらし

- いくつになっても住み続けられる地域をつくる
- 多様性を尊重する社会を実現し、くらしに関わる課題を地域とともに解決する

ポテンシャル事業



⑯エネルギー対策の推進



⑰ごみの減量・資源化の推進

ライフライン事業

⑮感染症対策の充実

⑳孤立ゼロプロジェクト推進事業

⑮感染症対策の充実

㉔こころといのちの相談支援事業

⑱地域包括ケアシステムの推進



⑲介護予防事業(パークで筋トレ・ウォーキング教室、はつらつ教室、はじめてのフレイル予防教室)



⑬BWM(地域防犯力の向上・防犯まちづくり)

ボトルネック事業

⑭BWM(美化推進事業・生活環境保全対策)



㉑生活困窮者自立支援事業

㉒データヘルス推進事業

㉓健康あだち21推進事業  
(糖尿病対策)

R5

重点  
評価テーマ

持続可能なくらし

地域でくらす  
(共生社会)

健康寿命の延伸

# 重点プロジェクト事業の 軸×4つの視点

★R5区民評価対象(R4実施事業)

## 3 まち

- 災害に強い都市基盤を整備し、防災力を高める
- 地域の個性を活かし、活力とにぎわいにあふれるまちをつくる

ポテンシャル事業

ライフライン事業

ボトルネック事業

R5

重点  
評価テーマ

★ ②⑤震災に対する防災力向上事業

★ ②⑥地域と一体となった水害対策

★ ②⑦震災や火災などに強いまちづくりの推進

②⑨緑を守り、育む人づくり事業

③⑩パークイノベーションの推進

③⑪自然環境・生物多様性の理解促進事業

※エリアデザインの推進

②⑧交通環境の改善事業

③②創業支援事業

③③販路拡大支援事業

③④就労支援・雇用安定化事業

③⑤ワークライフバランス推進事業

災害に強いまち

地域の個性

まちの活力



# 重点プロジェクト事業の 軸×4つの視点

★R5区民評価対象(R4実施事業)

## 4 行財政

- 多様な主体による「協働・協創」を促進する
- 次世代につなげる行財政運営を行う

ポテンシャル事業

★③⑦協創推進体制の構築

★③⑥町会・自治会・NPOの活性化支援

③⑧大学連携コーディネート事業

★③⑨ICTを活用した区民サービス及業務効率の向上

④⑩組織能力の向上と組織風土の改善

ライフライン事業

★④①人材育成事務

④②広聴機会の充実と区政への反映

★④③シティプロモーション事業

ボトルネック事業

★④④情報発信強化事業

④⑤4公金収納金の収納率向上対策

【地域】協働・協創の促進

【庁内】組織力

03

04

## 区民評価の変更点

R6の運用に向けて  
R5年度評価において試行実施

### 区民評価 ヒアリングの充実

これまで

ヒアリング時間 1事業あたり25分

- 所管課のプレゼンテーション 5分
- 質疑応答 20分



#### 課題となっていた点

- プレゼンテーションの時間が短く、事業の概要や成果を伝えきれない所管課もあった
- 評価の事業数と作業日数が多いため、日程の変更が極めて困難だった（⇒R4コロナ禍で中止）

これから

ヒアリング時間 1事業あたり60分

- 所管課のプレゼンテーション 10分
- 質疑応答 30～35分
- 委員同士の振り返り・記録 15～20分



#### 期待できる効果

- 事業についてさらに深掘りできる  
⇒具体的な事例や苦労している点など、現場のリアルな話を引き出せる
- 日程変更を ある程度柔軟に行うことができ  
評価活動を 継続することができる

03

04

## 区民評価の変更点

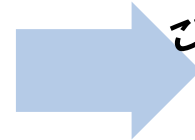
R6の運用に向けて  
R5年度評価において試行実施

### 区民評価 対象事業数

全事業数 { ◆重点プロジェクト事業 (R4実施分) 全45事業  
◆一般事務事業 全650事業から財政課が指定した約15事業

これまで

(1分科会あたり) 約15事業



これから

(1分科会あたり) 約6～7事業

### 区民評価対象とする事業の選定基準

- ✎ 「足立区基本計画」「行財政運営方針」「予算のあらまし」等で 区が特に注力することとした事業
- ✎ 事務や予算の執行において、課題や改善すべき事項が より明確な事業